



交通ひろしま

新春号
2023

HIROSHIMA TRAFFIC SAFETY

編集・発行 公益財団法人 広島県交通安全協会 広島県交通安全活動推進センター
〒731-5108 広島市佐伯区石内南三丁目1-1 広島県運転免許センター5F
TEL(082)941-7700 FAX(082)941-7701
URL <https://www.hiroankyo.or.jp/> e-mail: htss@hiroankyo.or.jp



あけまして おめでとうございます



年頭のごあいさつ

「各種活動の 発展的な見直し」

(公財)広島県交通安全協会
会長 小丸 成洋

新年あけましておめでとうございます。

県民の皆様には、明るく希望に満ちた新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、皆様には平素から交通安全協会の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていた各種行事も、感染防止対策に配慮しながら、地域の実情に応じて再開されるなど、社会の動きも変化をみせてきております。

交通事故は減少傾向にあるものの、高齢ドライバーによる重大交通事故や飲酒運転等の問題など交通環境を取り巻く状況の変化にも柔軟に対応した各種活動の在り方が求められております。

当協会といたしましては、行事等の再開をこれまでの活動の在り方を見直す良い機会ととらえ、発展的に見直しながら、各種交通安全推進活動に取り組んでまいりたいと考えております。

引き続き、広島県や県警察をはじめ関係機関・各種団体、地域ボランティアの皆様と連携しながら「交通事故のない日本一安全で安心な広島県」を目指してまいりますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますよう祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ

「交通事故のない 日本一安全で安心な 広島県」の実現を目指して

広島県知事 湯崎 英彦

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、令和5年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素から本県の交通安全対策の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本県では、「第11次広島県交通安全計画」

(令和3～7年度)において、「交通事故のない社会を目指す」を掲げ、高齢者や子供等の交通弱者の安全確保など「人優先の交通安全思想」を基本とし、「高齢化が進展しても安全に移動できる社会の構築」に向けた各種施策を推進しているところです。

引き続き、貴協会をはじめとする関係機関・団体の皆様とともに、交通安全対策を強力に推進し、「交通事故のない日本一安全で安心な広島県」の実現を目指して参ります。

新年の門出に当たり、貴協会の益々の御発展と、皆様の御健勝、御多幸を祈念して、年頭のごあいさつといたします。



年頭のごあいさつ

交通事故のない 安全で快適な交通社会の 実現を目指して

広島県警察本部長 森 元 良 幸

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素から警察行政各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、近年、交通事故発生件数は減少傾向にありますが、依然として交通事故により多くの尊い命が失われており、安全であるべき通学路の安全が脅かさ

れ、未だに根絶に至らない飲酒運転など、課題は多く、交通情勢は予断を許さない状況にあります。

県警察といたしましては、交通事故のない安全で快適な交通社会の実現を目指し、交通安全協会の皆様をはじめ地域の皆様とともに諸対策を推進してまいりたいと考えておりますので、引き続き、御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

あわせて、本年5月19日から21日までの3日間G7広島サミットが開催され、本サミット警備に伴い、大規模な交通規制を実施する予定です。

サミットを安全で円滑に開催するためにも、皆様の御理解と御協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と本年が皆様にとって輝かしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

あけましておめでとうございます

各地区 交通安全協会会長

交通事故のない安全・安心な地域社会の実現を目指します。

本年も県民の皆様のご協力をお願いいたします。



広島中央交通安全協会
久保田 耕一



広島東交通安全協会
田中 秀和



広島西交通安全協会
打越 勲



広島南交通安全協会
浮田 照義



安佐南交通安全協会
中富 祐二



安佐北交通安全協会
上田 秀信



佐伯交通安全協会
高田 稔



安芸地区交通安全協会
大成 景三



廿日市交通安全協会
野村 尊敬



大竹交通安全協会
賀谷 和明



山県交通安全協会
砂原 正則



呉交通安全協会
三宅 清嗣



広島交通安全協会
土井 龍裕



音戸倉橋交通安全協会
榎 勝則



江田島市交通安全協会
清水 義昭



東広島交通安全協会
新川 義貴



竹原地区交通安全協会
渡橋 博



大崎上島交通安全協会
信谷 裕



福山東交通安全協会
小丸 成洋



福山西交通安全協会
眞田 奈津基



福山北交通安全協会
佐藤 卓己



尾道交通安全協会
亀田 茂登



因島交通安全協会
伊藤 義美



三原交通安全協会
田中 緑一



府中交通安全協会
宮口 英昭



三次交通安全協会
藤定 守



庄原地区交通安全協会
佐々木 満



東城交通安全協会
桐岡 勲雄



安芸高田市交通安全協会
早川 眞典



世羅郡交通安全協会
井口 清紀

★資機材の寄贈

11月4日(金)、JRAウインズ広島の本務所(広島市南区)において贈呈式が行われました。JRAウインズ広島から空気清浄機2台を寄贈していただきました。寄贈していただいた空気清浄機は、広島県運転免許センターにある講習会場で活用しています。



高岡所長(左)と酒井専務理事

★交通安全資機材の寄贈

11月29日(火)、JA共済連広島から交通安全の幟旗700枚を寄贈していただきました。寄贈していただいた幟旗は、各地区交通安全協会へ配布し、各地域の交通安全活動などで活用しています。



下江副本部長(右)と酒井専務理事

★広島県年末交通事故防止県民総ぐるみ運動の広報活動

12月1日(木)から12月10日(土)まで実施された、「広島県年末交通事故防止県民総ぐるみ運動」の期間中、広島県運転免許センター入口に運動を知らせるバナーや幟旗を掲示しました。

また、12月2日(金)には、広島県警察から交通安全広報大使に委嘱された、「サンフレッチェ広島」川村拓夢選手と、同運転免許センターを訪れた方々に反射材などを同梱したチラシ等一式を配布し、交通安全を呼びかけました。



出動式の様子



交通安全活動の様子

★第71回交通安全ポスター・作文コンクール特別賞のご紹介

ポスターの部			作文の部	
学校・学年・氏名		賞 名	学校・学年・氏名	
①広島市立可部南小学校3年	岡田 羽音さん	広島県知事賞	広島市立毘沙門台小学校3年	石原 翔乃介さん
②庄原市立庄原小学校5年	森原 桜亮さん	広島県警察本部長賞	広島市立五日市東小学校1年	宮崎 航希さん
③北広島町立豊平中学校1年	圓山 龍瑛さん	広島県警察本部長賞	広島県立広島中学校1年	松尾 優衣さん
④広島市立安西小学校1年	林 咲人さん	広島県教育委員会賞	福山市立大谷台小学校6年	近藤 妃真さん
⑤尾道市立因島南中学校3年	岡野 莉子さん	広島県教育委員会賞	広島市立五月が丘中学校2年	浦上 滉暉さん

※特別賞の受賞作品は、広島県交通安全協会のホームページでご覧いただけます。



①広島県知事賞



②広島県警察本部長賞



③広島県警察本部長賞



④広島県教育委員会賞



⑤広島県教育委員会賞

広島県知事賞

弟を守る交通安全の歌

広島市立毘沙門台小学校 三年 石原 翔乃介さん

「止まる。手をあげる。右見て、左見て、右を見る。右を見ながら歩く。左を見ながら歩く。」

ぼくは年長の時、家からようち園バスのバスにまである横だん歩道で、毎日この歌を歌っていました。ようち園の行事で、大しば公園交通ランドに行き、教えてもらってから、おもしろくて頭からはなれなくなったからです。この歌の歌詞には、横だん歩道をわたる前に歩道で止まるところから、横だん歩道をわたり終えるまでに、気をつけることが入っています。

ぼくには、年長の弟がいます。弟は、ぼくが横だん歩道の歌を教えてもらった時と、同じとしになりました。去年まで、弟と公園に行く時は、弟がまだ小さかったので、家からすぐ近い公園でも、お母さんと三人で行っていました。しかし、弟が年長になったので、お母さんが二人で公園に行くことを、ゆるしてくれるようになりました。ただし、お母さんはぼくたちが公園に行く時、かならず弟に言うことがあります。

「大翔。道路では、ぜったいにお兄ちゃんと手をつないでね。お兄ちゃんの言うことをちゃんと聞いてね。」

そして、ぼくには、

「翔ちゃん。公園につくまでは、大翔の手をはなさないでね。大翔のこと、よろしくね。」

と言います。今までに五回、二人で公園に行きました。はじめのうちは、うれしそうにしながらも、少しきんちようしていた弟は、お母さんとのやくそくを、しっかり守っていました。

しかし、三回目に二人で公園に行っていた時、弟は道路でとつぜんぼくの手をはなして、公園のある方へ向かって走り出してしまいました。ぼくが「あつ。」と思ったときには、弟は道の真ん中を走っていました。ぼくは、急いで弟をおいかけ、つかまえました。「もし車が来ていたら…」と思うと、ドキドキして、とてもこわくなりました。

公園から帰って、公園へ行くときのことをお母さんにつたえると、お母さんは弟に、「公園に行く前、お母さんとやくそくしたこと、おぼえてる?。」と聞きました。弟は、

「お兄ちゃんと手をつなぐって…。」

と言いました。それを聞いてぼくは、「おぼえていたけれど、できなかったんだ。なぜ弟はできなかったんだろう。どうしたら弟が安全に、公園に行くことができるだろう。」と考えました。そして、ぼくが今の弟と同じ年長の時に、交通ランドに行ったことを思い出しました。そこでは、ぼくがよく歌っていた横だん歩道の歌だけではなく、ふみ切りのわたり方や、信号きのある横だん歩道でのことなど、他にもたくさん交通规则を教えてもらいました。しかし弟の学年は、コロナウィルスのえいきょうで、その行事はありませんでした。ぼくは、「だから、弟は交通规则を知らないんだ。それならぼくが、弟に交通ランドで学んだことを教えてあげよう。」と思いました。とくに、公園に行った時のけいけんから、道路の真ん中を走らなくなつてほしい、と思っていたので、まずは道路をはしを歩かなくてはいけなかったええました。そして、道の真ん中を歩くと、車にひかれるかもしれない、ということもつたええました。次に、あの歌についても教えてあげました。あの横だん歩道の歌のように横だん歩道をわたることができると、道路の真ん中にもとび出さなくなるのではないかと、思ったからです。それに、あの歌をきっかけに、ぼくのように交通规则にきょう味を持ってくれたらいいな、とも思いました。

ぼくが、道路のはしを歩くことと、横だん歩道の歌を教えてあげてから、弟は一度も道路の真ん中にとび出したことはありません。横だん歩道の前では、昔のぼくと同じように、歌を歌いながら止まり、手をあげて、左右をかくにんしながら、横だん歩道をわたるようになりました。そしてやつぱり、ぼくと同じように、横だん歩道の歌が大好きです。交通ランドで習ったことは、ほかにもたくさんあるのですが、少しずつ弟に教えてあげたいと思います。教えるだけではなく、ぼくも交通规则をしっかり守って、弟のお手本になれるようにがんばります。また、三年生は小学校で、自転車教室があつて、自転車運転めんきよししょうをもらえると聞いたので、よく学んで、安全に自転車にのれるようになりたいです。

